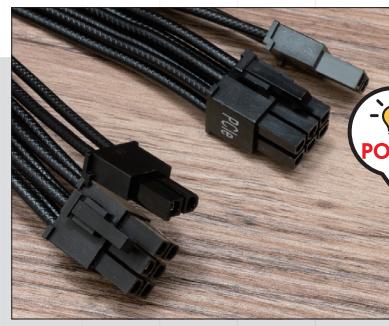


20. 補助電源の接続

20-1 ▶

2つの補助電源を接続する

→本構成のAMD Radeon RX 9000シリーズを搭載したビデオカードは、補助電源にPCIe8(6+2)ピンを採用している。工程10で準備したケーブルを接続しよう。



2股ケーブルの使用は避けたい

→PCIe8(6+2)ピン電源ケーブルは、コネクタを2基備える2股ケーブルが主流だが、1基のコネクタにつき、1本のケーブルで接続したい。

20-2 ▶ 6+2ピンはこうすると楽



→結束バンドを使って、とめるのがおすすめ。本構成はケーブルコームを活用して、まとめた。

20-3 ▶

コネクタを奥まで挿し込もう

→PCIe8(6+2)ピン電源ケーブルを接続しよう。ビデオカードの後部に手を添えて、コネクタを奥まで、しっかりと挿し込む。甘挿しは、起動不能や破損の要因になる。



CAUTION 12V-2×6/12VHPWR使用時の注意点

12V-2×6/12VHPWRは、ビデオカード向け補助電源のひとつで、おもにNVIDIA GeForce 50シリーズの一部で採用されている。本構成では使用していないが、最大600Wの電力を1本のケーブルで供給するため、扱いには注意が必要。ケーブルを極端に曲げての取り回しや、甘挿しは厳禁だ。



甘挿しは絶対ダメ!

→12V-2×6/12VHPWRに限らないが、コネクタの挿し込み不足は、絶対に駄目だ。再確認を心がけよう。



追加のひと手間 裏面ケーブルの取りまとめ



見映えを良くしよう

→補助電源ケーブルを見映えよくまとめよう。また、冷却液チューブが水冷ヘッドのLEDを遮らないようにもしたい。



裏面もキレイにしよう

→PCケース裏面を通した各種ケーブルも、PCケース標準装備のバンドや、用意した結束バンドでまとめよう。

組み立て完了! 起動準備を行おう

これで自作PCの組み立て工程は完了となる。改めて各種ケーブルの挿し込みを確認したら、工程で取り外したPCケースのサイドパネルなどを戻すとともに、PCの起動準備を行っていこう。



電源や映像出力の準備を行おう



→電源ユニット背面スイッチを「|」にするとともに、電源や映像出力ケーブルを接続しよう。